

## 図書館の広報活動におけるイメージキャラクターの利用

08L4283 林 茉莉花

### 1. 図書館キャラクターとは

キャラクターという存在は様々な場面で見かけるであろう。マンガやアニメだけでなく企業が宣伝広告等に利用することも珍しくない。近年はゆるキャラという言葉も耳にするようになり、地方自治体や公共事業等においてもキャラクターが使われていることが多くなった。図書館においても広報等の場でキャラクターを利用している例が数多く存在する。イメージキャラクターを利用することによって、より消費者(図書館の場合は利用者)の関心を集めることを目的としているのである。

### 2. 図書館キャラクターデータベース「トキャラ図鑑」

渡辺ゆきの氏は図書館キャラクターのデータベースとして kumori ホームページの中で「トキャラ」図鑑を公開している。2012年1月16日現在、トキャラ図鑑に掲載されているトキャラ数は156であるが、掲載許可申請中と合わせると227である。

### 3. 調査

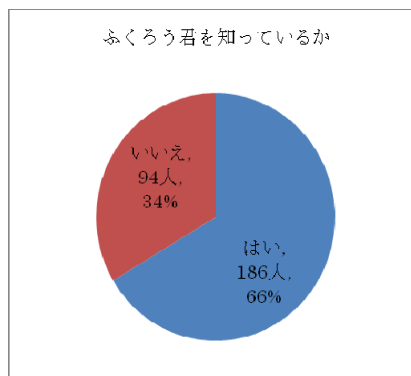
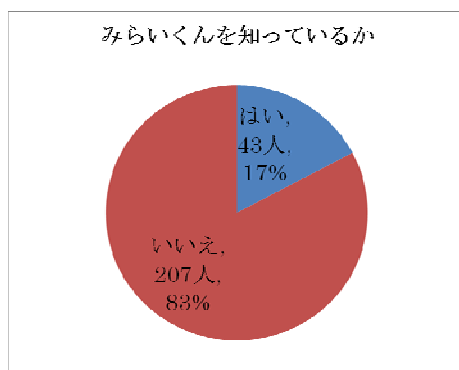
みよし市立中央図書館及びあま市美和図書館において来館者アンケートを実施した。

#### 3.1 各館のキャラクターの比較点

館名	みよし市立中央図書館	あま市美和図書館
名前	みらいくん	ふくろう君
導入年	平成 21 年	平成 6 年
導入方法	図書館側が作成	公募により決定
デザイン	パターンは少ないが統一されている (決まったデザインを利用しているため)	パターンは多いが統一性が無い (複数の人が描いているため)
活用状況	図書館ホームページ 図書館パンフレット 図書館利用者カード 図書館の封筒	図書利用カード 図書館カレンダー(しおり状) 読書ラリーカード(児童向けイベント) 図書館ホームページ 図書館だより

#### 3.2 調査の結果

みらいくんはその導入年数の短さからか知っているという回答は17%と非常に少ない結果となった。一方ふくろう君は知っているという回答が66%という結果であった。



#### 4. 愛知大学図書館におけるキャラクターの作成

##### 4.1 作成の流れ

2011年4月	「図書館キャラクターを考える会」を発足
2011年6月21日	「図書館キャラクターを考える会」から「図書館好きな学生の会」へと改名
2011年7月7日	第1回説明会 メンバーとの顔合わせおよび説明を行った
2011年7月12日	第2回説明会 第1回説明会不参加者を対象に実施
2011年8月30日	図書館好きな学生の交流会を実施
2011年9月	図書館好きな学生の会を中心にキャラクターデザイン候補を募集
2011年10月17日	図書館キャラクター選挙開始
2011年11月7日	図書館キャラクター選挙終了
2011年11月10日	図書館総合展会場にて選挙結果の発表

##### 4.2 作成の結果

キャラクター作成の結果、本蔵（ほんぞう）というキャラクターが誕生した。



#### 5. 考察

キャラクターを図書館側が作成する場合も公募によって作成する場合も、重要なのはその認知度を得るための広報活動である。キャラクターの認知度を高め、図書館への関心を高められるかどうかは、キャラクターを利用する図書館における広報戦略の課題といえるだろう。